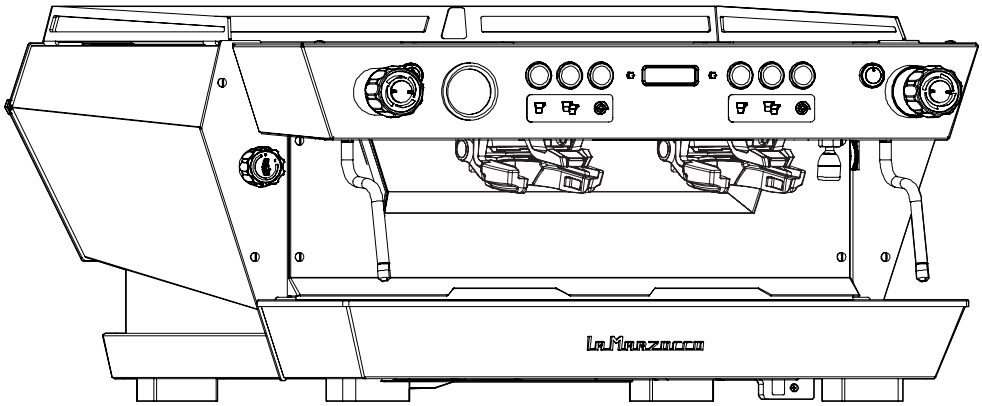
業務用コーヒー抽出機

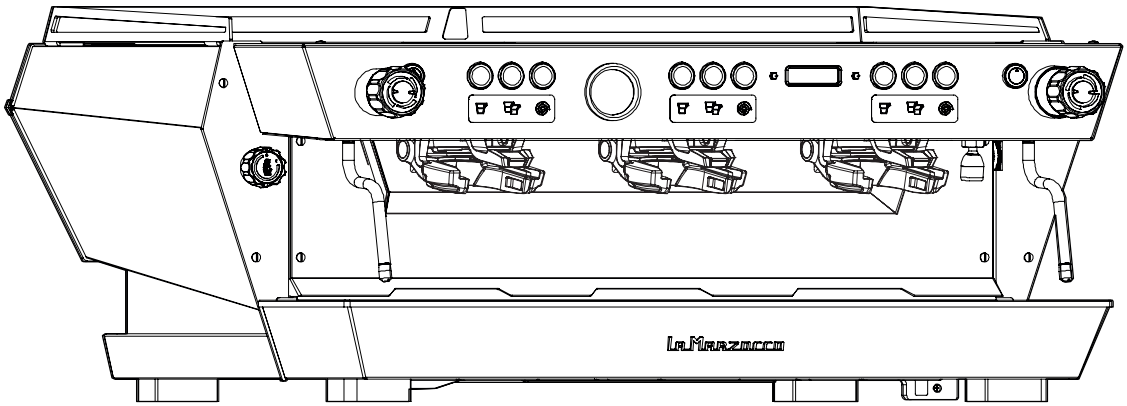
la marzocco
handmade in florence

エスプレッソコーヒーマシン

KB90-2, 3

取扱い説明書





目　次　　頁

● 安全上の注意事項……1～2
● 設置……3
● 各部の名称 ・ 仕 様……4
● 操作方法……5～7
始業時手順……5
エスプレッソコーヒーの抽出のしかた……5
コーヒー抽出量の設定……6
熱湯の取り出し方……6
熱湯抽出量の設定……7
蒸気の取り出し方……7
● プログラム……8～13
● 清掃……14
抽出装置の清掃（毎日の清掃）……14
終業時手順……14
● 製品保証書、無料修理規定

このたびは LA・MARZOCCO エスプレッソコーヒーマシンをお求めいただき、まことにありがとうございます。

ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、十分にご理解いただいたうえで正しく操作してください。

この説明書は、必要な時にいつでもお読みいただけるようわかり易い場所に大切に保管してください。

安全上の注意事項

ご使用になる前に　この安全上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

表示内容は次の通りです。

⚠ **警 告**　守られないと、重大な人身事故や死亡事故につながる可能性のある事柄。

⚠ **注 意**　守られないと、人に傷害を与えたり物損事故につながる可能性のある事柄。

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。

⚠ 警　告
据付工事は、お買い上げ店または専門業者に依頼すること ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。
アース工事を必ず行うこと アース工事はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。 アースが不完全な場合は、感電の原因になります。(電気工事士による第3種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。)
本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること 電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。
電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回線を使用すること 電源回路不良、容量不足や施工不備があると、感電や火災の原因になります。
屋外で使用しないこと 雨水のかかる場所で使用されますと、漏電や感電の原因になります。
製品に直接水を掛けないこと 漏電、ショート、感電、錆、故障の原因になります。
機械内部の電気装置や配線に触らないこと ヤケドや感電のおそれがあります。
電源コードを傷つけないこと 加工したり、引っ張ったり、束ねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。
漏電遮断器が「OFF(切)」に作動したときは、お買上げ店に連絡すること 無理にレバーを「ON（入)」にすると、感電や火災の原因になります。
電源プラグはほこりが付着していないか定期的に確認し、根元まで確実に差し込むこと ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。
濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、各スイッチを操作しないこと 感電の原因になることがあります。
異常時はメインスイッチを「OFF(切)」にし、電源プラグを抜くか(電源プラグを使用の場合)、専用電源を切って、すぐにお買上げ店に連絡すること 異常のまま運転を続けると、感電や火災の原因になります。
熱湯ノブおよびスチームノブを操作するときは、熱湯ノズル、スチームノズルがドリップトレーに向いているか確認すること　また、顔や手などに向けないこと ヤケドの原因になります。
顔や手、または他人にスチームノズルを向けないこと ヤケドの原因になります。
容器にコーヒー、スチーム、熱湯を取り出す場合、容器はドリップトレー上に置くこと 持ったまま取り出すと、ヤケドの原因になります。
修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理は行わないこと 異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電や火災の原因になります。
改造は絶対に行わないこと 改造されると、水漏れや感電、火災の原因になります。
移設は専門業者か、お買上げの店に相談すること 据え付け不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。
廃却は専門業者か、お買上げの店に依頼すること 放置しますと、幼児などがケガをする原因になります。

⚠注　意

床面が丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること
据え付けに不備があると、水漏れや転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。

本機の周囲は、壁およびものから10cm以上空けること
熱がこもると電子制御部品に影響をおよぼし、故障の原因になることがあります。

直射日光の当たる所や、周囲の温度が32℃以上の高温になる所には据え付けないこと
電気部品の故障の原因になります。

水をこぼしても良い所に据え付けること
使用中にコーヒーや湯、蒸気などが周囲に飛び散ることがありますので、濡れると不都合なところでは、防水処理をしてください。

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないようにすること
スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

熱器具の近くに据え付けたり、機械の上に熱器具を乗せたりしないこと
熱で本体が損傷して故障の原因になります。

凍結の恐れのある場所へは据え付けないこと
機械の故障の原因、および給水管の破裂から浸水し、周囲を濡らす原因になることがあります。
凍結の恐れのある場所への据え付けの場合は、お買上げ店にご相談ください。

本機の上に重量物や水を入れた容器を置かないこと
落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になることがあります。

製品にもたれたり、乗ったりしないこと
ヤケドや製品転倒によるケガの原因になります。

給水に使用する水は、必ず飲料水を使用すること
他の水は、健康障害の原因になることがあります。

水道圧力は、流れている状態で1.5kg/cm²以上で使用すること
水圧が低いと、機械は正常に作動しません。1.5kg/cm²以下の場合は、お買上げ店にご相談ください。

断水の時はメインスイッチを「OFF(切)」にし、水道栓を閉めること
開けておくと通水時“赤水”が発生し、不衛生な水が機械に給水されます。

断水後や定休日明けの使用前には、必ず機械内部の水を入れ替えること
水の腐敗から、健康障害の原因になることがあります。

スチームノズルは本機との接続部や先端部分には直接手で触れないこと
ヤケドの原因になることがあります。

一日の営業終了後は、必ず接液部分および部品は洗浄すること
洗浄しないと雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。

自動洗浄以外の掃除や点検の時は、必ずメインスイッチを「OFF(切)」にして、専用電源も切ること
感電したり、ヤケドの原因になることがあります。

電源プラグを使用している場合、プラグを抜くときに電源コードを持って抜かないこと
必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災の原因になります。

付属の専用液体洗浄剤を取り扱うときは、ゴム手袋を着用すること
素手で取り扱うと、手荒れ原因になることがあります。

一週間以上ご使用にならない場合は、安全のためメインスイッチを切って、本機専用電源も「OFF(切)」にし、電源プラグを使用の場合はコンセントから抜くこと
発熱や発火の原因になることがあります。

排水管に詰まりがないか始業時に点検を行うこと
排水管が詰まると、漏水から周囲を濡らす原因になることがあります。

漏電遮断器は月に1回、動作確認すること
漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になることがあります。

本機を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つところにテープ止めすること

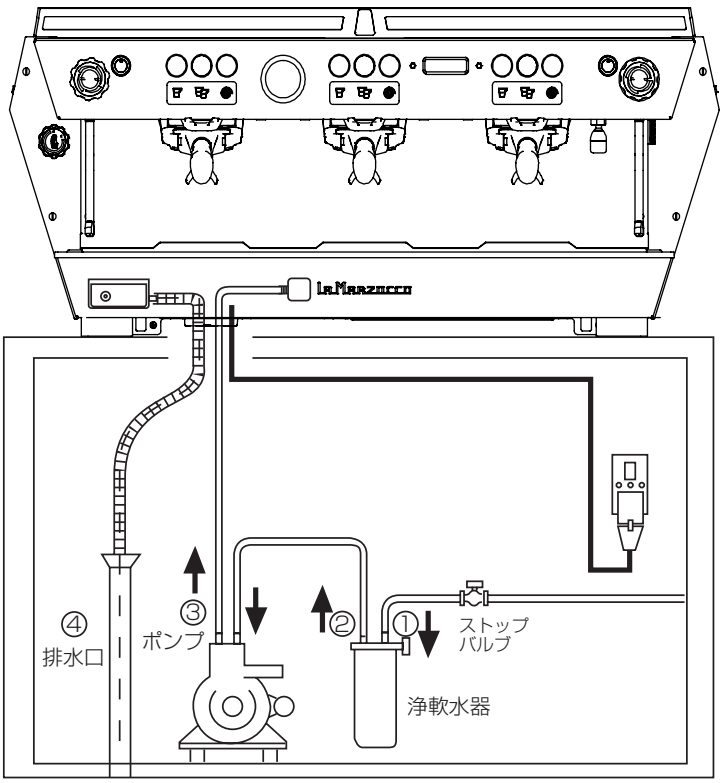
設置

下記のパーツが入っているかチェックしてください。（　）内の数字は、3連用のパーツです。

・1人用フィルターホルダー……1（1）　・タンパー［57mm］……1（1）　・排水用ホース［1.5m］……1（1）
・2人用フィルターホルダー……2（3）　・エスプレッソ洗浄剤［560g］……1（1）　・ホース留め金……1（1）
・ブラインドフィルター……1（1）　・給水用メッシュチューブ……1（1）　・洗浄ブラシ……1（1）

■ABR仕様　※ABR専用（重さの容量重が0.5g以下）⚖マーク付

・2人用フィルターホルダー……2※　・タンパー［57mm］……1　・排水用ホース［1.5m］……1
・17gフィルターバスケット……2※　・カリブレーション用おもり……1　・ホース留め金……1
・ブラインドフィルター……1　・エスプレッソ洗浄剤［560g］……1　・洗浄ブラシ……1



※ポンプ及び浄軟水器の設置スペースをご用意ください。

配管例

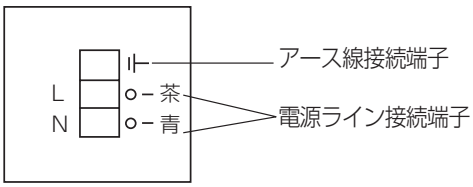
①接続の前に、ストップバルブより水を充分に流出し、水道管内の異物を取り除きます。

②浄軟水器OUT側の接続前にも浄軟水器に充分に水を通してカートリッジ内の微粉などを取り除きます。

③増圧ポンプのIN・OUTを確認してから本体までの配管接続を行ってください。

④排水ホースは、できるだけ最短距離を選び、トラップが発生しないようにご注意ください。

増圧ポンプの電源端子

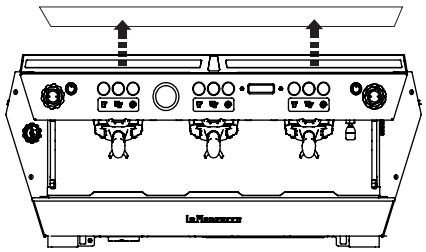


※設置時と浄軟水器の交換時に必ず行ってください。

コーヒーボイラーの空気抜き

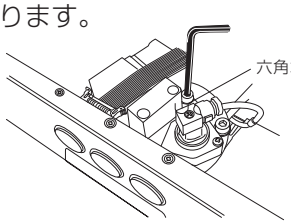
エスプレッソマシンの設置が完了し、ストップバルブを開くと、コーヒーボイラーに水が流入します。
流入水がコーヒーボイラー内の空気を圧迫しますので、空気を逃がすために空気抜きが必要になります。

1 天板（カバープレート）を外してください。

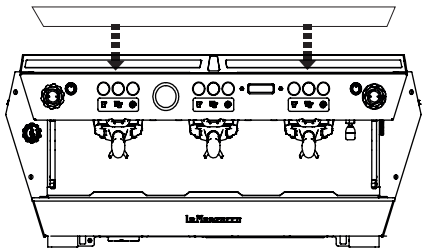


2 抽出装置の小さな六角ボルトをゆるめます。

抽出装置から水が2～3滴出てきましたら空気が抜けた事になります。



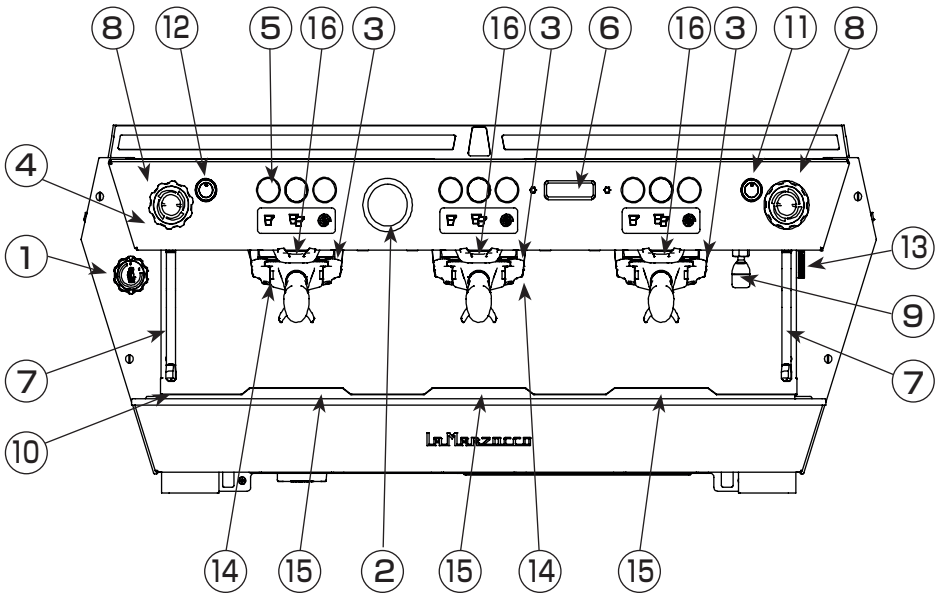
3 六角ボルトを再度締め付けて、天板（カバープレート）を取付けてください。



※必ず、上記操作をそれぞれの抽出装置で行ってください。

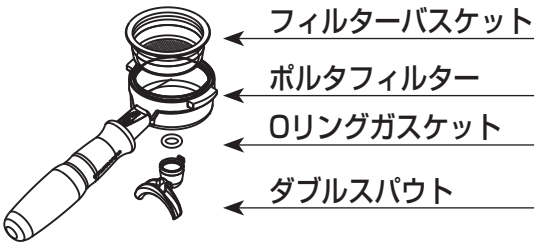
各部の名称・仕様

KB90-3

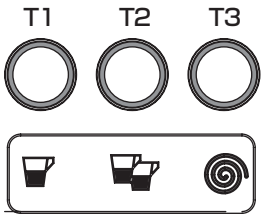


① 電源スイッチ
② スチーム圧力/抽出圧力計
③ エスプレッソ抽出装置
④ コントロールパネル
⑤ 抽出ボタン
⑥ ディスプレイパネル
⑦ スチームワンド（ノズル）
⑧ スチームノブ
⑨ 熱湯ノズル
⑩ ドリップトレー
⑪ 熱湯ボタン
⑫ カップウォーマーボタン（オプション）
⑬ 熱湯希釈バルブ
⑭ ストレートイン
⑮ ポジションスケール
⑯ ブランケットロック

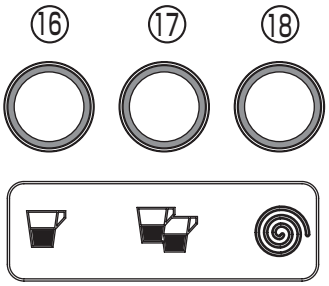
フィルターホルダー



※プログラム時には最左端の抽出装置の抽出ボタンが
T1：戻るボタン（）
T2：進むボタン（）
T3：決定ボタン（）
となります。



抽出ボタン



⑯ エスプレッソボタン　1杯用
⑰ エスプレッソボタン　2杯用
⑱ エスプレッソボタン　手動用

仕様

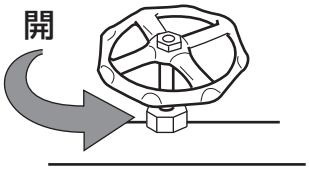
	LA・MARZOCCO エスプレッソコーヒーマシン	
モデル	KB90-2	KB90-3
外形寸法(mm)	幅 810 / 奥行 612 / 高さ 524	幅 1047 / 奥行 612 / 高さ 524
重量(乾燥重量)	77kg / 80kg (AUTO BREW RATIO)	101kg / 105kg (AUTO BREW RATIO)
電源：消費電力	単相200V：50/60Hz 4340W	単相200V：50/60Hz 5830W
ボイラー容量	コーヒー：1.3ℓ、スチーム：7.0ℓ	コーヒー：1.3ℓ、スチーム：11.0ℓ
エスプレッソ抽出能力	400杯／h	600杯／h
熱湯抽出能力	16ℓ／h	19ℓ／h
初動沸き上がり時間	約20分	約35分

注意：コンセントは30Aを用意してください。
上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

操作方法

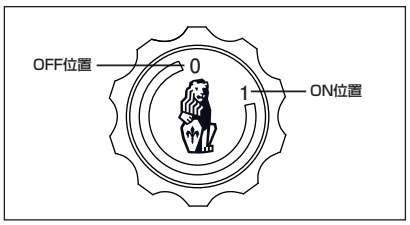
始業時手順

1 水道の元栓を開いてください。



2 電源スイッチを1（ON位置）に回してください。
（ディスプレイパネルの表示がOFF表示の場合は、いずれかのボタンを押してください。）

ボイラータンク内の水量が減っている場合は、自動的に給水が始まります。
適量範囲まで給水されれば、自動的に給水は停止します。
その後、ヒーターに通電されてボイラータンク内の水を沸かし始めます。



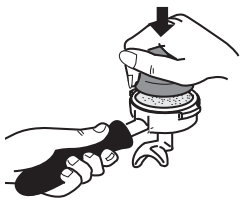
3 抽出ボタンと熱湯ボタンのランプが赤く点灯すれば適温となり抽出可能です。
表示が適正圧力まで上がるのに、機種により20分〜35分程度かかります。

エスプレッソコーヒーの抽出のしかた

1 フィルターホルダーが冷たい時は、抽出したコーヒーがぬるくなりますので、コーヒー抽出ボタンを押して熱湯だけを出し、フィルターホルダーをあらかじめ温めてください。
（フィルターはフィルターホルダーにセットしておいてください。）

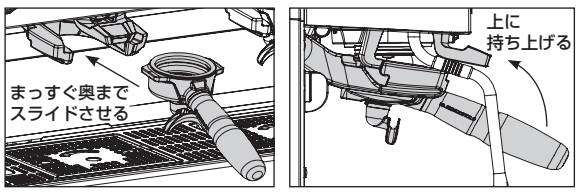
2 フィルターホルダーを、抽出装置より外してください。

3 フィルターホルダーのフィルター内に、適量のコーヒー粉を入れてください。



4 タンパーで平らにしてください。
フィルターのフチについた粉は手の平で拭き落としてください。

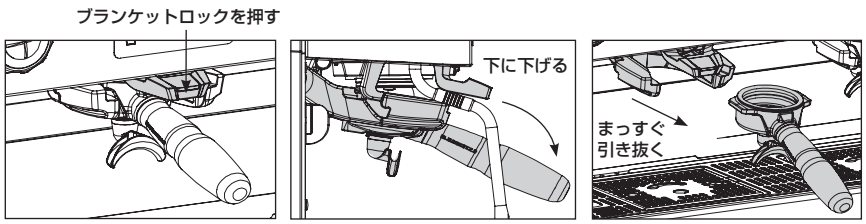
5 フィルターホルダーをグループヘッドへまっすぐ奥までスライドさせてから上に持ち上げて“カチッ”と音がしてロックが掛かるまでしっかりとセットしてください。
※粉量が多すぎるとロックがかからない場合があります。



6 抽出口の下にカップを置き、抽出ボタンのランプが点灯している事を確認し、お好みの抽出ボタンを押してください。

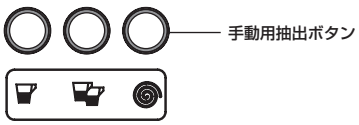
7 設定された量のコーヒーが抽出されると、自動的に抽出が停止します。
（コーヒー抽出量の変更は、P6「コーヒー抽出量の設定」をご参照ください。）

8 フィルターホルダーを外す場合は、ブランケットロックを親指で押さえてロックを解除し、ホルダーを下にスライドさせて引き抜いてください。
※抽出が完了してからホルダーを外すとオートフラッシング（自動洗浄）が始まります。各抽出ボタンのLEDが3灯点滅し、約2秒後にスタートします。



⚠ **注意** オートフラッシングが開始されるとスチームと熱湯が抽出口から出てきます。やけどに注意してください。

●手動用抽出ボタンは、手動でエスプレッソコーヒーを抽出する時に使用してください。



コーヒー抽出量の設定

1 **コーヒー粉を入れたフィルターホルダーをエスプレッソ抽出グループにセットしてください。**

2 **抽出口の下にコーヒーカップを置いてください。**

3 **抽出ボタンのLEDランプが赤く点灯している状態で、最左端の抽出グループのT3ボタン(◎)を5秒間長押ししてください。**
ディスプレイパネルが"Group Dose Settings"表示になっているのを確認してボタンを離します。

4 **もう一度、最左端の抽出装置のT3ボタン(◎)を押してください。**
ディスプレイパネルが"Program Volume Dose"表示になります。

5 **もう一度、最左端の抽出装置のT3ボタン(◎)を押してください。**
ディスプレイパネルが"Press Enter to Exit"表示になります。

6 **抽出量を設定したい抽出ボタンを押すと抽出ボタンが赤く点滅し、抽出が始まります。**
お好みの量まで抽出されたら、再度抽出ボタンを押してください。
抽出が止まり、抽出された量が設定されます。
抽出量が設定されると、抽出ボタンは赤く点灯します。

7 **他に設定したい抽出ボタンがある場合は、6を繰り返します。**
また、設定した抽出ボタンを再度設定する場合も6を繰り返します。

8 **設定が完了しましたら、最左端の抽出装置のT3ボタン(◎)を押してください。**
ディスプレイパネルが"Program Volume Dose"表示になります。

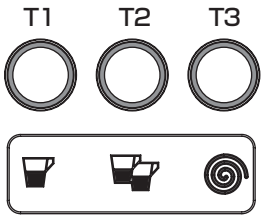
9 **最左端の抽出装置のT2ボタン(☕)を押してください。**
ディスプレイパネルが"Group Dose Exit"表示になります。

10 **最左端の抽出装置のT3ボタン(◎)を押してください。**
ディスプレイパネルが"Group Dose Settings"表示になります。

11 **最左端の抽出装置のT1ボタン(☕)を押してください。**
ディスプレイパネルが"Exit Menu"表示になります。

12 **最左端の抽出装置のT3ボタン(◎)を押してください。**
通常の電源ON状態に戻ります。

※設定時には最左端の抽出装置の抽出ボタンが
T1：戻るボタン（☕）
T2：進むボタン（☕）
T3：決定ボタン（◎）
となります。

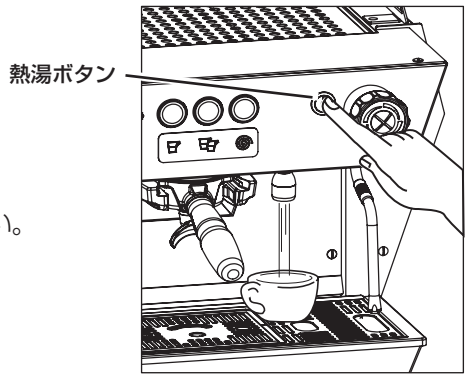


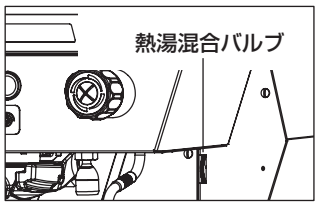
熱湯の取り出し方

1 **熱湯ノズルの下に容器を置いてください。**

2 **熱湯ボタンを押してください**
設定されている量の熱湯が給湯され、
自動的で停止します。

⚠ **注意** 熱湯の飛び散りに注意してください。





熱湯の温度は、熱湯混合バルブでも調整できます。

操作方法

熱湯抽出量の設定

1 **熱湯ボタンのLEDランプが赤く点灯している状態でT3ボタン(◎)を5秒間長押ししてください。**
ディスプレイパネルが"Group Dose Settings"表示になっているのを確認してボタンを離します。

2 **T2ボタン(☕)を押してください。**
ディスプレイパネルが"Tea Dose Exit"表示になります。

3 **T3ボタン(◎)を押してください。**
ディスプレイパネルが"Tea Dose ENABLED"表示になります。

4 **T2ボタン(☕)を押してください。**
ディスプレイパネルが" Program Tea Dose"表示になります。

5 **T3ボタン(◎)を押してください。**
ディスプレイパネルが"Press Tea Button To Program"表示になります。

6 **熱湯ボタンを押すと熱湯の抽湯がはじまります。お好みの量まで抽出されたら、再度熱湯ボタンを押してください。抽出が止まり抽湯された量が設定されます。**
設定が完了するとディスプレイパネルの表示が"Program Tea Dose"になります。

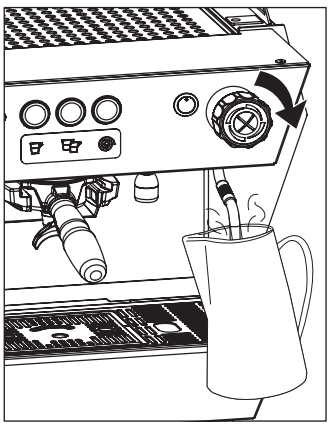
7 **T2ボタン(☕)を押してください。**
ディスプレイパネルが"Tea Dose Exit"表示になります。

8 **T3ボタン(◎)を押してください。**
ディスプレイパネルが"Tea Dose Settings"表示になります。

9 **T1ボタン(☕)を2回押してください。**
ディスプレイパネルが"Exit Menu"表示になります。

10 **T3ボタン(◎)を押してください。**
通常の電源ON状態に戻ります。

蒸気の取り出し方



1 **スチームノズルを、あらかじめドリップトレーに向けておいてください。**

2 **スチームノブを回して開き、水抜きをしてください。**
この時、熱湯が勢い良く飛び出しますのでご注意ください。

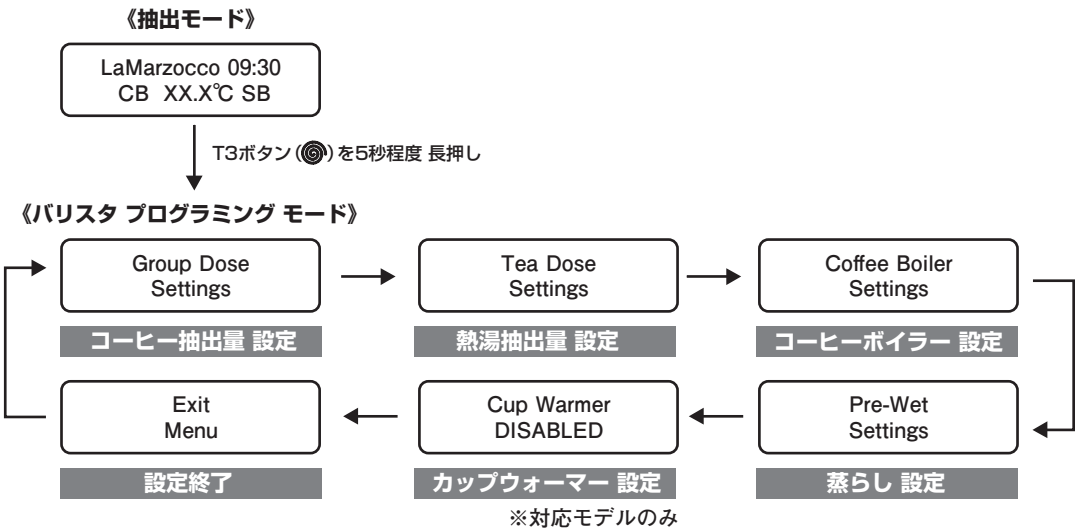
3 **蒸気が出たら、いったんスチームノブを戻して閉じ、スチームノズルを飲料の入った容器に入れてください。**

4 **再度、スチームノブを回して開いてください。使用後は、スチームノブを戻して閉じ、容器をノズルからはずしてください。**

5 **スチームノズルに付着した液を、水でしぼった清潔な布で拭き取ってください。**

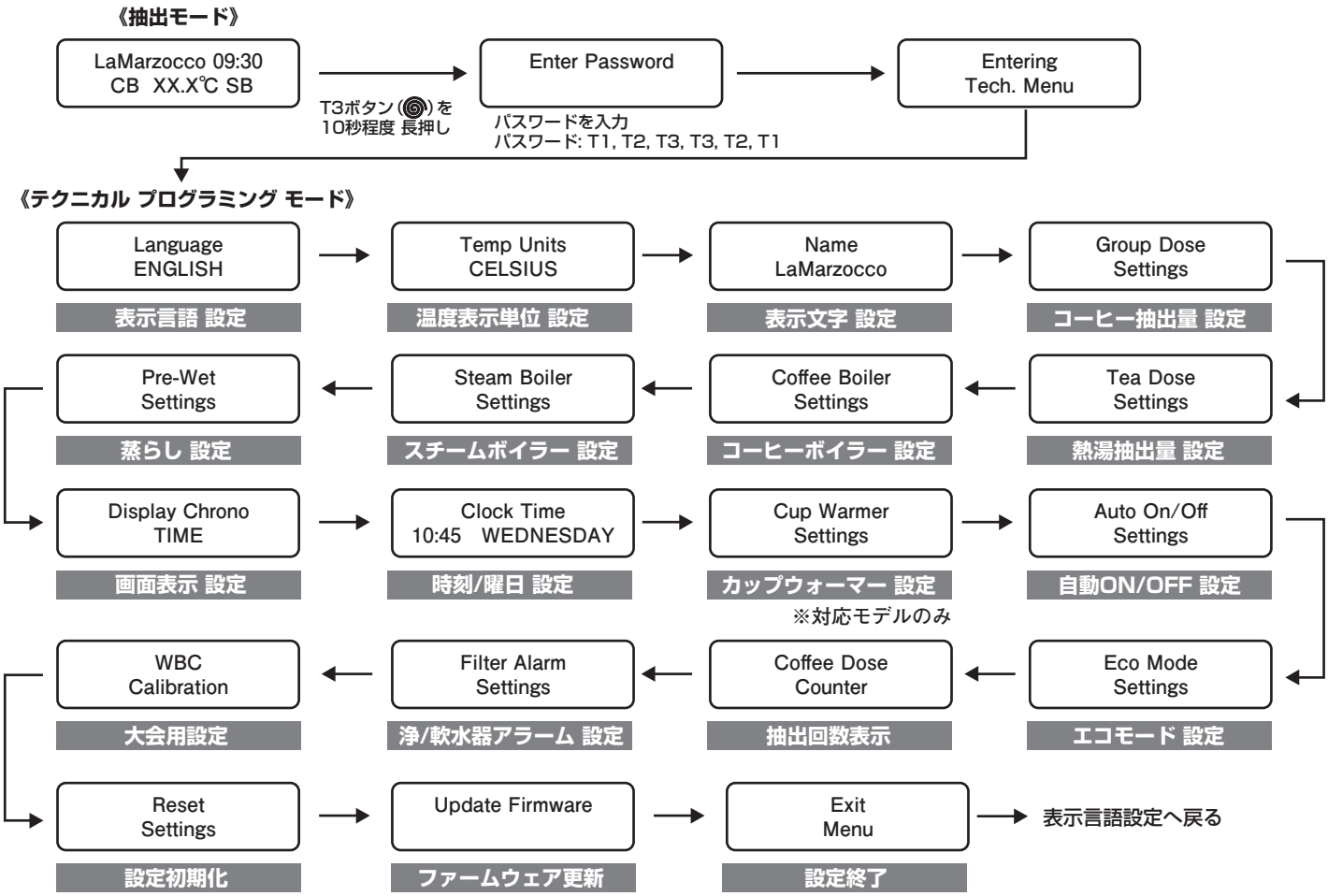
6 **その後もう一度スチームノブを回して開き、数回蒸気を出す動作(空ふかし)を行ってください。**
空ふかしをしない場合、ノズル内に付着した液(ミルクなど)が固まってノズル内が詰まり、故障の原因になることがあります。

バリスタ・プログラム一覧



各項目の設定を行うには、設定したい項目がディスプレイに表示されている時にT3ボタンを押します。
<バリスタ プログラミング モード>から<抽出モード>に戻るには、T2ボタンとT3ボタンを同時に押します。
もしくは、"Exit Menu" でT3ボタンを押しても<抽出モード>に戻れます。

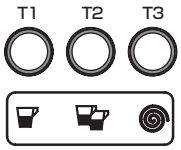
テクニカル・プログラム一覧



各項目の設定を行うには、設定したい項目がディスプレイに表示されている時にT3ボタンを押します。
<テクニカル プログラミング モード>から<抽出モード>に戻るには、T2ボタンとT3ボタンを同時に押します。
もしくは、"Exit Menu" でT3ボタンを押しても<抽出モード>に戻れます。

プログラム（バリスタ・プログラム）

バリスタ・プログラムでは以下の設定ができます。
最左端の抽出装置の抽出ボタンがプログラムボタンになります。
各メニューでは T1(戻る)ボタン、T2(進む)ボタン、T3(決定)ボタン で操作します。
T2ボタン、T3ボタンを同時に押すと、いつでもプログラムを終了できます。



バリスタ・プログラム

コーヒー抽出量の設定

Group Dose Settings → Program Volume Dose

各抽出ボタンのコーヒー抽出量を設定できます。
「コーヒー抽出量の設定」を参照ください。(→6ページ)

Group Dose Exit

コーヒー抽出量の設定を終了します。

スケールパラメーターの設定（ABR仕様）

Scale Configuration → Scale Tare Time 0s

抽出ボタン押下後、計量リセットを行うまでの時間を設定できます。

Group Dose Exit

スケールパラメーターの設定を終了します。

熱湯抽出量の設定

Water Dose Settings → Water Dose ENABLED

熱湯ボタンの抽出量設定を有効/無効にできます。
ENABLED ：有効･･･設定した量で自動的に止まります。
DISABLED：無効･･･熱湯を止めるには再度 熱湯ボタンを押します。

Program Water Dose

熱湯ボタンの抽出量を設定できます。
熱湯ボタンを押し湯を出し、設定したい量で再度 熱湯ボタンを押して止めます。このとき抽湯された量が設定されます。
「熱湯抽出量の設定」も参照ください。（→7ページ）
※ Tea Dose が DISABLED のときは、このメニューは表示されません。

Water Dose Exit

熱湯抽出量の設定を終了します。

コーヒーボイラーの設定

※通常はENABLEDから変更しないでください。

Coffee Boiler Settings → Coffee Boiler 1 ENABLED

コーヒーボイラーの機能を有効/無効にできます。
ENABLED ：有効･･･コーヒーボイラーの機能を有効にします。
DISABLED：無効･･･コーヒーボイラーの機能を無効にします。

CB1 Temperature xx.x℃ xx.x℃

コーヒーボイラーの制御温度を設定できます。
左の表示：現在のコーヒーボイラー内湯温を表示
右の表示：設定温度
※Coffee Boiler 1 が DISABLED のときは、このメニューは表示されません。

CB Settings Exit

コーヒーボイラーの設定を終了します。

蒸らしの設定

Pre-Wet Settings → Group 1 Pre-Wet 0s Wet 0s Hold

各抽出グループごとに蒸らし時間を設定できます。
0s Wet ：蒸らし抽湯量……蒸らし時の湯量を抽出時間(秒)で設定できます。
0s Hold：蒸らし待ち時間…蒸らし時の待ち時間(秒)を設定できます。

Group 2 Pre-Wet 0s Wet 0s Hold

Group 3 Pre-Wet 0s Wet 0s Hold

Pre-Wet Settings Exit

蒸らしの設定を終了します。

カップウォーマーの設定へ

バリスタ・プログラム

カップウォーマーの設定

※カップウォーマー付きモデルのみ、このメニューが表示されます。

Cup Warmer
DISABLED

カップウォーマーの機能を有効/無効にできます。

ENABLED ：有効
DISABLED：無効

オプションにて天板にカップウォーマー用ヒーターが搭載されているモデルのみ有効となります。

↓

スチームフラッシュの設定

Steam Flush
DISABLED

スチームフラッシュ機能を有効/無効にできます。

ENABLED ：有効
DISABLED：無効

フィルターホルダーを外すと自動的にスチームフラッシング動作が開始されます。スチーム洗浄によりコーヒーの汚れをより落とすことができます。

↓

フラッシュの設定

Flush
DISABLED

フラッシュ機能を有効/無効にできます。

ENABLED ：有効
DISABLED：無効

フィルターホルダーを外すと自動的にフラッシング動作が開始されます。お湯洗浄によりコーヒーの汚れを落とすことができます。

↓

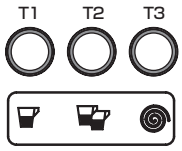
Exit
Menu

プログラムを終了します。

※ T2ボタン、T3ボタンを同時に押しても、いつでもプログラムを終了できます。

プログラム（テクニカル・プログラム）

テクニカル・プログラムでは以下の設定ができます。
最左端の抽出装置の抽出ボタンがプログラムボタンになります。
各メニューでは T1(戻る)ボタン、T2(進む)ボタン、T3(決定)ボタン で操作します。
T2ボタン、T3ボタンを同時に押すと、いつでもプログラムを終了できます。



テクニカル・プログラム

表示言語の設定

Language
ENGLISH

表示される言語を選択できます。

ENGLISH ：英語　DEUTSCH：ドイツ語　ESPANOL：スペイン語
FRANCAIS：フランス語　ITALIANO ：イタリア語

温度表示の単位設定

Temp Units
CELSIUS

表示される温度の単位を選択できます。

CELSIUS ：摂氏(℃)
FAHRENHEIT：華氏(°F)

表示文字の設定

Name
LaMarzocco

抽出モード時にディスプレイに表示される文字を入力できます。

使用可能文字: a～z、A～Z、(空白), 0～9
文字数: 10文字　初期設定: LaMarzocco

コーヒー抽出量の設定

Group Dose
Settings

Program
Volume Dose

各抽出ボタンのコーヒー抽出量を設定できます。
「コーヒー抽出量の設定」を参照ください。(→6ページ)

Group Dose
Exit

コーヒー抽出量の設定を終了します。

スケールパラメーターの設定（ABR仕様）

Scale
Configuration

Auto Offset
ENABLED

抽出予測機能を有効/無効にできます。
ENABLED ：有効･･･抽出予測機能を有効にします。
DISABLED：無効･･･抽出予測機能を無効にします。

Scale Tare Time
0s

抽出ボタン押下後、計量リセットを行うまでの時間を設定できます。

Group Dose
Exit

スケールパラメーターの設定を終了します。

熱湯抽出量の設定

Water Dose
Settings

Water Dose
ENABLED

熱湯ボタンの抽出量設定を有効/無効にできます。
ENABLED ：有効･･･設定した量で自動的に止まります。
DISABLED：無効･･･熱湯を止めるには再度 熱湯ボタンを押します。

Program
Water Dose

熱湯ボタンの抽出量を設定できます。
熱湯ボタンを押し湯を出し、設定したい量で再度 熱湯ボタンを押して止めます。このとき抽湯された量が設定されます。
「熱湯抽出量の設定」も参照ください。（→7ページ）
※ Tea Dose が DISABLED のときは、このメニューは表示されません。

Water Dose
Exit

熱湯抽出量の設定を終了します。

コーヒーボイラーの設定へ

テクニカル・プログラム

コーヒーボイラーの設定

※通常はENABLEDから変更しないでください。

Coffee Boiler Settings

- Coffee Boiler 1 ENABLED
  コーヒーボイラーの機能を有効/無効にできます。
  ENABLED ：有効･･･コーヒーボイラーの機能を有効にします。
  DISABLED：無効･･･コーヒーボイラーの機能を無効にします。
- CB1 Temperature xx.x℃ xx.x℃
  コーヒーボイラーの制御温度を設定できます。
  左の表示：現在のコーヒーボイラー内湯温を表示
  右の表示：設定温度
  ※Coffee Boiler 1 が DISABLED のときは、このメニューは表示されません。
- CB1 Offset x.x℃
  コーヒーボイラー設定温度と抽出口湯温との温度補正値が設定できます。
  設定範囲: -15.0～15.0 ℃
  ※工場出荷時に設定されていますので、通常は変更しないでください。
  変更する場合は、予め設定されていた値を記録しておいてください。
  ※Coffee Boiler 1 が DISABLED のときは、このメニューは表示されません。
- CB Settings Exit
  コーヒーボイラーの設定を終了します。

スチームボイラーの設定

※通常はENABLEDから変更しないでください。

Steam Boiler Settings

- Steam Boiler ENABLED
  スチームボイラーの機能を有効/無効にできます。
  ENABLED ：有効･･･スチームボイラーの機能を有効にします。
  DISABLED：無効･･･スチームボイラーの機能を無効にします。
- Steam Temp. xx.x℃ xx.x℃
  スチームボイラーの制御温度を設定できます。
  左の表示：現在のスチームボイラー内湯温を表示
  右の表示：設定温度
  ※このメニューは Steam Biler が DISABLED のときは表示されません。
- Autofill Delay 2 start 2 stop
  ボイラーへの給水タイミングを設定できます。
  X start: 給水が必要と検知してから、給水開始するまでの時間(秒)
  X stop : 給水中から実際に給水終了するまでの時間(秒)
  通常は2 start 2 stop から変更しないでください。
  ※このメニューは Steam Biler が DISABLED のときは表示されません。
- Fill During Brew YES
  抽出中にボイラーへ給水するかどうかを設定できます。
  YES : 抽出中にボイラーへ給水する
  NO ：抽出中にはボイラーへ給水しない
  ※このメニューは Steam Biler が DISABLED のときは表示されません。
- Autofill Timeout 5 min
  スチームボイラーへの給水時間制限(分)を設定できます。
  ※このメニューは Steam Biler が DISABLED のときは表示されません。
- Fill With Pump WITH PUMP
  給水時にポンプの使用/未使用を設定できます。
  WITH PUMP ：ポンプを使用する
  WITHOUT PUMP : ポンプを使用しない
  通常は WITH PUMP から変更しないでください。
  ※このメニューは Steam Biler が DISABLED のときは表示されません。
- Level Sensitiv. HIGH
  スチームボイラー水位の感知感度を設定できます。
  HIGH : 高
  LOW ：低
  通常は HIGH から変更しないでください。
  ※このメニューは Steam Biler が DISABLED のときは表示されません。
- CB Settings Exit
  コーヒーボイラーの設定を終了します。

蒸らしの設定へ

プログラム（テクニカル・プログラム）

テクニカル・プログラム

蒸らしの設定

Pre-Wet Settings

- Group 1 Pre-Wet 0s Wet 0s Hold
- Group 2 Pre-Wet 0s Wet 0s Hold
- Group 3 Pre-Wet 0s Wet 0s Hold
- Pre-Wet Settings Exit

各抽出グループごとに蒸らし時間を設定できます。

0s Wet ：蒸らし抽湯量……蒸らし時の湯量を抽出時間(秒)で設定できます。
0s Hold：蒸らし待ち時間…蒸らし時の待ち時間(秒)を設定できます。

蒸らしの設定を終了します。

画面表示の設定

Display Chrono TIME

画面に表示される項目を設定できます。

抽出中に以下の項目を表示し、抽出モード時には時間/温度表示と以下の項目が交互に表示されます。
TIME: グループ別に抽出時間(秒)を表示します。
DOSE: グループ別に抽出時の流量計からのパルス数を表示します。
NO: グループ別の抽出情報は表示しない。

時刻/曜日の設定

Clock Time 13:36 WEDNESDAY

時刻と曜日を設定できます。

カップウォーマーの設定

※カップウォーマー付きモデルのみ、このメニューが表示されます。

Cup Warmer Settings

- Cup Warmer DISABLED
- Cup Warmer T On x min
- Cup Warmer T Off x min
- Cup Warmer Exit

カップウォーマーの機能を有効/無効にできます。

ENABLED ：有効
DISABLED：無効

カップウォーマーがON状態の時間(分)を設定できます。

※このメニューは Cup Warmer が DISABLED のときは表示されません。

カップウォーマーがOFF状態の時間(分)を設定できます。

※このメニューは Cup Warmer が DISABLED のときは表示されません。

カップウォーマーの設定を終了します。

自動ON/OFFの設定

Auto On/Off Settings

- Auto On/Off DISABLED
- Auto On Time 00:00
- Auto Off Time 00:00
- Closed On NEVER
- Auto On/Off Exit

自動ON/OFFの機能を有効/無効にできます。

ENABLED ：有効
DISABLED：無効

自動ONの時刻を設定できます。

※このメニューは Auto On/Off が DISABLED のときは表示されません。

自動OFFの時刻を設定できます。

※このメニューは Auto On/Off が DISABLED のときは表示されません。

NEVER: 設定なし
MONDAY～SUNDAY: 月曜日～日曜日
※このメニューは Auto On/Off が DISABLED のときは表示されません。

Auto On/Off の設定を終了します。

エコモードの設定へ

テクニカル・プログラム

エコモードの設定

Eco Mode Settings

- Eco Mode Temp - 10.0℃
  エコモード時の制御温度を設定できます。
  ボイラー設定温度からの差で値を設定します。
  設定範囲: -30.0〜-5.0 ℃ (5℃刻み)
- Auto Eco Time 60
  通常の状態から自動でエコモードになるまでの時間(分)を設定できます。
  0に設定すると、自動ではエコモードになりません。
  設定範囲: 0〜120 分
  ※T1ボタンとT2ボタンを同時に押すと、すぐにエコモードになります。
  エコモードから通常の状態に戻すにはいずれかのボタンを押してください。
- Eco Mode Exit
  エコモードの設定を終了します。

スチームフラッシュの設定

Steam Flush DISABLED

スチームフラッシュ機能を有効/無効にできます。
ENABLED ：有効
DISABLED：無効

フラッシュの設定

Flush DISABLED

フラッシュ機能を有効/無効にできます。
ENABLED ：有効
DISABLED：無効

スチームフラッシュ/フラッシュ時間の設定

Flush Time 0,0s

グループ洗浄時の熱湯の注湯時間を設定できます。
Delay time ：ポルタフィルターを外して何秒後にフラッシュを開始するかを設定できます。
Duration time：何秒間フラッシングを行うかを設定できます。

抽出杯数の確認

Coffee Dose Counter

- Total Coffee Doses:00
- Doses G1B1 00
- Doses G1B2 00
- Doses G1B3 00
- Hot water Doses 00
- Coffee Doses Exit

各抽出ボタンの抽出杯数の確認ができます。

浄水器交換時期通知設定へ

プログラム（テクニカル・プログラム）

テクニカル・プログラム

浄水器交換時期通知設定

Filter Alarm Settings → Filter Alarm DISABLED

浄水器の交換通知の表示を有効/無効にできます。
ENABLED ：有効
DISABLED：無効

リセット設定

Reset Settings

工場出荷の初期状態に戻します。

ファームウェア更新

Update Firmware

ファームウェアの更新時に使用します。

プログラム終了

Menu Exit

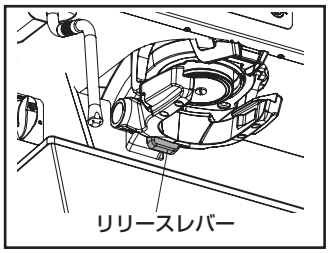
プログラムを終了します。
※T2ボタン、T3ボタンを同時に押しても、いつでもプログラムを終了できます。

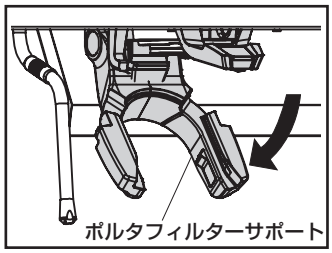
抽出装置の清掃（毎日の清掃）

1 **抽出装置より、ポルタフィルターを外してください。**

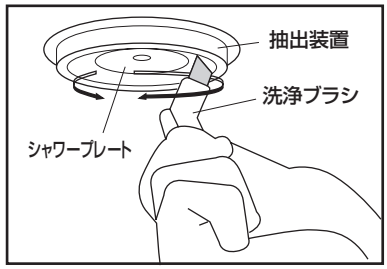
2 **コーヒーカスを捨ててください。**

3 **抽出装置のリリースレバーを押さえると、ポルタフィルターサポートが下にさがります。**





4 **付属の洗浄ブラシを使用してシャワープレートの外側を洗ってください。**



5 **リリースレバーを押しながらポルトフィルターサポートを上にあげて元の位置まで戻したら、リリースレバーを離してかみ合わせてください。**

注意：ポルタフィルターサポートは保温のため大変熱くなっています。
素手では触らず、濡れたウェス等をあてながら作業してください。

6 **ブラインドフィルターをフィルターホルダーに取り付け、ティースプーン1杯（約8g）の洗剤を入れます。**

7 **フィルターホルダーを清掃したい抽出装置に取り付け、清掃したいグループの1杯用抽出ボタン（☕）と手動用抽出ボタン（◎）を同時に3〜5秒間押します。**

8 **自動でクリーニングが開始されます。**

9 **フィルターホルダーを外し、5と同様にオートクリーニングを行いすすぎ洗いしてください。**

注意：ブラインドフィルターを装着した状態でポルタフィルターを取り外すとブラインドフィルター内部に残ったお湯が手にかかりやけどをする恐れがありますので、ポルタフィルターはゆっくりと取り外してください。

10 **再度、洗浄した抽出装置の抽出ボタンを押して熱湯を出し、シャワープレート部をきれいにすすぎ洗いしてください。**

注意：洗剤成分が残らない様に、すすぎ洗いを必ず行ってください。

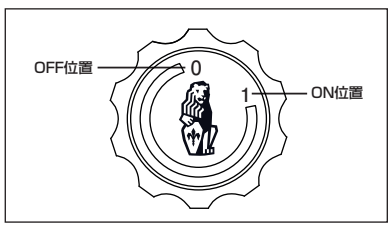
11 **フィルターホルダー、フィルター、ブラインドフィルターをぬるま湯の入った容器などに入れて洗浄してください。**

終 業 時 手 順

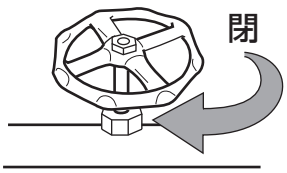
終業時の一連のクリーニングが終了したらメインスイッチを“0”（電源OFF）の位置にして、水道の元栓を締めてください。

1 **左端グループの抽出ボタンのT2ボタン（☕）とT3ボタン（◎）を同時に3秒間長押し押します。ディスプレイにOFFと表示されます。**

2 **電源スイッチを 0（OFF位置）の位置に回します。**



3 **水道の元栓を閉めます。**



製品保証書

型式	KB90-2 KB90-3	機番	保証期間
お客様	お名前　　様		お買上げ日より1カ年
	ご住所　〒		お買上げ日
	電話（　　）　　ー		＊　　年　　月　　日

＊販売店名

住所

電話（　　）　　ー

本書はお買上げ日から上記期間中に故障が生じた場合に、本書下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。
ご販売店さまへ：＊印欄は必ず記入してお渡しください。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、お買上げ店にお申し付けください。
2. 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
   （イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による、故障及び損傷。
   （ロ）お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
   （ハ）火災、地震、水害、落雷その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。
   （ニ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
   （ホ）本書のご提示がない場合。
   （ヘ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   （ト）遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する費用。
3. この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後7年です。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
5. 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
   ※　この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
   従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

ラッキーコーヒーマシン株式会社

本社	〒658-0023	神戸市東灘区深江浜町95番	TEL(078)451-8300	FAX(078)451-5777
東京本部				
広域営業部	〒105-0004	東京都港区新橋6丁目1-11 Daiwa御成門ビル	TEL(03)5400-3483	FAX(03)5400-5724

営業所

札幌営業所	〒004-0005	札幌市厚別区厚別東五条1丁目4番26号	TEL(011)898-3636	FAX(011)897-1467
東京営業所／東京ショールーム	〒105-0004	東京都港区新橋6丁目1-11 Daiwa御成門ビル	TEL(03)5400-5720	FAX(03)5400-5723
名古屋営業所／名古屋ショールーム	〒451-0046	名古屋市西区牛島町5番4号	TEL(052)587-7678	FAX(052)587-7677
大阪営業所／大阪ショールーム	〒537-0001	大阪市東成区深江北3丁目5番7号	TEL(06)4259-2655	FAX(06)4259-2660
福岡営業所	〒813-0062	福岡市東区松島6丁目2-1	TEL(092)292-0335	FAX(092)292-0356
福岡ショールーム	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前1丁目9-3 博多駅前シティビル	TEL(092)292-0335	FAX(092)292-0356

20.06 RE